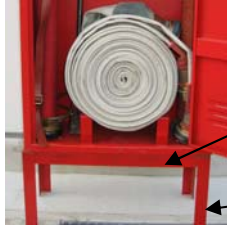


## 消火栓ボックスの点検要領

### 1 外観の点検

- (1) 消火栓ボックス本体に、大きな破損箇所や著しい錆が無い確認する。
- (2) 扉の破損、変形により開閉がしにくいことはないか確認する。
- (3) 扉がなくなっている。ちょうつがい破損していないか確認する。



特に、ボックスの下部の台との間の錆がひどい場合強風で倒れることがあります。

ボックスの台

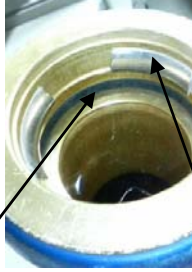


### 2 収納物品の点検

- (1) 筒先1本、スタンドパイプ1本、キーハンドル1本、ホース2本が収納されています。
- (2) 収納品が全てあるか確認する。
- (3) 筒先について
  - ・ 筒先のパイプ部分が凹んでいないか (少し凹んでいても使用に問題なし)
  - ・ 爪とパッキンの確認をする



パッキンにヒビ割れがある場合パッキンの交換が必要です。パッキンが無い場合には、水漏れにより有効な放水ができません。



筒先  
スタンドパイプ  
キーハンドル  
ホース

この部分が、「爪」です。爪を外側に押さえてスムーズに動かすか確認してください。動きが硬い場合には、ホースをつなぐと外すことが出来ないことがあります。

### (4) スタンドパイプについて

- ・ 筒先と同様、パイプの凹みや爪の部分、パッキンについて確認する

この部分の金具が前後にスライドするか確認する。動かない場合は金具の変形が考えられます。



この部分の爪の動きと、パッキンのヒビ割れとパッキンの有無について確認する

### (5) キーハンドルについて

- ・ 本体とアームが分離しているタイプの場合、アームがあるか確認する



アーム部分

### (6) ホースについて

- ・ メス金具の爪の動きとパッキンについて確認する(筒先と同様)
- ・ オス金具部が容易に前後にスライドするか確認する
- ・ 金具が変形していないか確認する
- ・ 金具のところから内部をのぞき、ホースの内張りのゴムにヒビ割れがないか確認する



オス金具

メス金具



この部分が前後に容易にスライドするか確認する